

横須賀市美術館の教育プログラム実施の要望書

日頃から、横須賀市の子どもたちの教育に、多大なご尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

横須賀市の美術館計画につきましては、市民の関心が高まってきています。わたくしたち小学校校長会もお互いの考えを確認しながら、建設の早期促進とその運営について、意見を述べさせていただきます。

観音崎公園一帯は、歴史的・文化的に市の社会の成り立ちを示す史跡や施設が数多く残されています。ここに美術館という教育施設が創られることは、校外学習等でたびたび訪れる小学生にとっても非常に喜ばしいことと受け止めておりました。

他市の先例を見ましても、小学校の生活科、図画工作科などの教科や総合的な学習、遠足的行事などの教科外の諸活動で、美術館を有効に活用できる可能性をもつことは、証明されていると考えます。

特に、その運営面で、公立美術館の工夫に富む教育プログラムが用意され、実践されることにより、子どもたちの感性をはぐくみ、創造する意欲を喚起し、近い将来の市民文化の高揚を生み出すきっかけとなることが期待されます。美術作品の鑑賞はもとより、子どもの作品の展示や創造活動を支えるパリエーション豊かなワークショップが企画されることを願っています。いわゆる参加型の機能も備えていただけるよう要望するものであります。

教育の営みは、すぐに目に見える効果だけでなく、長年にわたって、美術館と学校・地域とが双方向に働きかけ合う関係を構築しながら、子どもたちのよりよい成長を促進しなければならないと考えます。

しかし、そのために、わたくしたちは教育以外の施策をないがしろにするものではありません。学齢期の児童・生徒に限らず、幼児やお年寄り、体が不自由な方にとっても、本物にふれる喜びや情操の形成・生きがいの発見など、美術館のもつ可能性は広く深いものがあります。

市民にとって、「本物にふれる」機能と「参加して共に創る」機能を合わせた美術館が早く建設されますよう、ここに要望として意見表明させていただきます。どうか、美術館の教育効果について市民等の理解を促進し、教育プログラムの実施に向けた計画が素々と推進されますようお願い申し上げます。

平成15年7月10日

横須賀市小学校校長会会長 高 山 雅 英



横 須 賀 市 長 沢 田 秀 男 様